

東京交通新聞 2009 年 7 月 27 日

< 国交省 官房長に北村氏 >

幹部人事 本田氏は鉄道局長

国土交通省は 24 日、14 日付に続く幹部人事異動を発令した。

春田謙事務次官が勇退し、後任に谷口博昭技監。官房長に北村隆志鉄道局長、自動車交通局長には榊野龍二官房総括審議官が就任した。本田勝自交局長は鉄道局長に。

地方運輸局長 中部は伊藤氏、中国は原氏

地方機関では中部運輸局長に伊藤松博国土交通大学副校長、中国運輸局長に原克彦関東運輸局次長。

今回の発令は事務次官以下、本省局長・課長級の本体ライン。技官系トップの技監は甲村謙友河川局長。3 ポストの国土交通審議官は竹歳誠、宿利正史の両氏が留任、榊正剛氏が退き、後任に大口清一総合政策局長。総政局長に増田優一官房長、同次長には関口幸一航空局次長。国土計画局長に中島正弘内閣官房地域活性化統合事務局長、運輸安全委員会事務局長に大須賀英郎同委事務局審議官。

海上保安庁長官には鈴木久泰同庁次長。岩崎貞二長官は勇退。金井道夫道路局長、本保芳明観光庁長官は留任した。

旅客課長に石崎氏

自交局では総務課長に花角英世観光庁総務課長。加藤由起夫総務課長は官房総務課長に。旅客課長が交代し石崎仁志総合政策局建設市場整備課長が就いた。奥田哲也旅客課長は航空局空港部空港政策課長。稲葉一雄審議官、内藤政彦技術安全部長、山崎篤男安全政策課長は留任。

このほか、総政局交通計画課長に尾関良夫海保庁交通部企画課長、同局総務課交通安全対策室長に石原弘一岡山県土木部参与、官房運輸安全監理官に最勝寺潔官房付、観光庁観光地域振興部長に田端浩官房人事課長。

地方運輸局関係で関東運輸局次長に長谷部正道第七管区海上保安本部長、内閣府沖縄総合事務局運輸部長に勝山潔鉄道局総務課危機管理室長。中田徹中部運輸局長は気象庁次長、石津緒中国運輸局長は航空局次長に。



大口 清一氏（おおくち・せいいち = 国土交通審議官）東大経卒。75 年旧運輸省に入り、中国運輸局長、鉄道局長、総合政策局長など歴任。神奈川県出身、59 歳。

北村 隆志氏（きたむら・たかし = 官房長 = 京大法卒。76 年旧運輸省に入り、近畿運輸局企画部長、官房会計課長、鉄道局長など歴任。兵庫県出身、55 歳。



増田 優一氏（ますだ・ゆういち = 総合政策局長）東大法卒。75 年旧建設省に入り、京都市助役、都市・地域整備局長、官房長など歴任。石川県出身、57 歳。

本田 勝氏（ほんだ・まさる = 鉄道局長）東大法卒。76 年旧運輸省に入り、関東運輸局自動車一部長、航空局次長、自動車交通局長など歴任。岐阜県出身、56 歳。



榊野 龍二氏（ますの・りゅうじ = 自動車交通局長）東大法卒。77 年旧運輸省に入り、近畿運輸局自動車部長、自交局次長、官房総括審議官など歴任。兵庫県出身、55 歳。

伊藤 松博氏（いとう・まつひろ = 中部運輸局長）東大法卒。80 年旧運輸省に入り、中国運輸局自動車部長、運輸審議会首席審理官、国土交通大学校副校長・柏研修センター所長など歴任。愛媛県出身、52 歳。

原 克彦氏（はら・かつひこ = 中国運輸局長）東大法卒。79 年旧運輸省に入り、JR 東日本営業部販売担当課長、四国運輸局次長、関東運輸局次長など歴任。福岡県出身、53 歳。



石崎 仁志氏（いしざき・ひとし = 自動車交通局旅客課長）一橋大法卒。85 年旧運輸省に入り、自交局旅客課長補佐、北海道運輸局自動車部長、総合政策局建設市場整備課長など歴任。愛媛県出身、47 歳。